

## 第28期第5回東大和市立公民館運営審議会 会議要録

- 1 日時 令和7年11月20日(木) 午後2時～4時
- 2 場所 東大和市立中央公民館 301学習室
- 3 委員 (出席者)佐々木会長、津嶋副会長、若野委員、相澤委員、新井委員、岡田委員、小川委員  
(欠席者)澤崎委員、中屋委員、中川委員、橋本委員、五十嵐委員
- 4 事務局 (出席者)廣瀬生涯学習課長、内藤南街公民館長、森田狭山公民館長、宮田蔵敷公民館長  
原口上北台公民館長

5 傍聴者 0人

6 次第 (1)審議事項

①公民館運営審議会委員研修会について

(2)報告事項

①東京都公民館連絡協議会委員部会公開研修会の参加報告について

(3)その他

7 会議資料

- ・第28期第5回会議次第
- ・東京都公民館連絡協議会委員部会公開研修会の参加報告資料
- ・令和7年度中央公民館主催講座(保育付)  
アロマでリラックス&アドラー心理学を学ぼう
- ・令和7年度上北台公民館主催講座(保育付)  
おいしい料理とおしゃれ写真のスキルアップ講座

8 議事要旨

(1)審議事項

①公民館運営審議会委員研修会について

事務局より、町田市の生涯学習センターの視察研修が提示された。大規模改修を経てリニューアルオープンする同センターの運営形態や沿革を学ぶことを目的とした研修であることが説明された。

(委員からの主な意見)

・町田市は東京都公民館連絡協議会加盟市ではないが、町田市の運営形態から当市として具体的に何が学べるのか。

(審議の結果)

今回の審議会(令和8年1月15日)午後1時30分から、町田市の生涯学習センターへの視察研修とすることを決定した。委員の出欠席を12月12日までに事務局へ連絡することとした。

(2)報告事項

①東京都公民館連絡協議会委員部会公開研修会の参加報告について

令和7年度東京都公民館連絡協議会委員部会公開研修会「多摩地域の公民館のしあさって～公民館の将来像を語り合おう～」に参加した委員から報告があった。

(委員からの主な意見)

・講師(西山氏)の「発想の転換」という視点は面白く、公民館の未来を考えるきっかけとなった。

・研修をきっかけに、公民館利用者連絡会への参加を促す具体的な文書を作成するなど、次のアクションに繋

がった。

- ・テーマである「しあさって(未来像)」に関する深い議論がなく、期待外れだった。講師の話が長く、内容がまとまっていなかった。
- ・グループ討議のテーマ設定が曖昧で、議論が深まらなかった。
- ・企画者側としては、参加者が主体的に考える「共同学習」の形式を意図したものであり、参加した方の視点を取り入れるという狙いがあった。

### (3)その他

#### ①公民館運営審議会ハンドブックについて

会長より、ハンドブックを基に、公民館の基本的な「役割」(つどう、まなぶ、むすぶ)と「特質」(地域性、施設性、専門性、公共性)について、出席委員で再確認を行った。

「地域性」や「むすぶ」機能について議論が交わされ、公民館が地域課題の解決にどう関わるべきか、利用者連絡会とどう連携していくべきかといった視点の重要性が共有された。

#### ②その他

・来年度(令和8年度)重点目標について、前回の審議会で議論された内容で手続きを進めているが、確定版を改めて委員に報告するよう要望があった。

・連絡方法の電子化について、今後の審議会の連絡について、原則としてメールでの連絡に移行するための手続きを進めていることが確認された。

・中央公民館及び上北台公民館の保育付き講座のチラシを配布した。また、南街公民館でも同時期に防災をテーマにした保育付き講座を実施する。各館それぞれテーマは異なっており1月から3月まで実施する。

次回研修予定：令和8年1月15日(木) 午後1時30分～ 町田市生涯学習センター